

英語科学習指導案（2限）

授業者 千菊基司

クラス 5年B組

場 所 マルチメディアホール

1. 題材 VOYAGER Reading Course Lesson 6 Candles on Your Birthday Cake

2. 題材について

- (1)教材観：この教科書は大きく3部に分かれ、第1部では、段落内の構造や情報の結束の見抜き方、段落構成の特徴などを目標に各課が構成されている。本時の題材については、段落構成について、筆者の主張を効果的に表現するために「逆説・譲歩」の構造に注目させるように編成されている。本文では人間の年齢のとらえかたを、逆接表現で論点を明確にし、実際の「職務年齢」を重視すべきだという主張で結んでいる。
- (2)生徒観：多くの生徒は英文解釈といえ、単文レベルの日本語への置き換えなら得意だが、段落単位以上で、未知語が含まれたら、なんとなく読んでいる、という様子である。日本語の読解力が高い生徒が多いため、相対的に短めの英語の文章においては、そのような読解で終わっているようだ。
- (3)指導観：日本語訳できればなんとなくわかってしまう生徒に対し、段落構造の知識を読解に利用することの重要性を感じさせるためにも、できるだけ教科書以外の題材も利用し、リーディングスキルの向上を目指したい。

3. 指導計画（全4時間）

- (1) 語彙習得活動（1時間）
- (2) 本文の読解活動・練習（2時間 本時は1時間目）
- (3) まとめ（1時間）

4. 題材の評価規準

- (1) 学習したリーディングストラテジーを進んで用い、意欲的に読解活動に関わっている。
(ア. 関心・意欲・態度)
- (2) 文章中の関連する語句に着目して、書かれた内容について正しく読み取ることができる。
(ウ① 理解の能力)
- (3) 読んだ内容について、概要や要点を把握することができる。
(ウ② 理解の能力)
- (4) 情報を読み手にわかりやすく伝えるための文章構成について理解している。
(エ. 知識・理解)

5. 本時のねらい

- (1) 修辞技法を意識し、文章を構成する情報がそれぞれどのように関連しているか、正しく読みとることができる。
- (2) 修辞技法を支える連結表現とその用法を理解している。

6. 授業展開過程

時間	学習内容および活動	指導上の留意点	評価規準との関連・評価方法
8	<p>Warm-up</p> <p>Fact or Opinion ?</p> <p>単文を羅列し、事実か意見かを短時間で選別する練習を行う。</p>		ア 観察
5	<p>Presentation of the new material</p> <p>単語の確認・音読</p> <p>本文のテープリスニング</p>		
10	<p>Comprehension</p> <p>①段落内の情報構成に注目させ、筆者の主張の展開の仕方に注目させる。</p> <p>②「実年齢」と「職務年齢」の違いを、実例を考えさせながら理解させる。</p>	前時までに習得した語句を手がかりに、段落構造に注目させる。	ウ①② 観察 ワークシート
20	<p>Practice</p> <p>教科書本文と同程度の分量の文章を題材に、段落構成に注目しながら読解する。</p>	文単位以上の情報に注目できるように、既習の語彙に限定した長文を用意する。	ウ①② 観察 ワークシート
7	<p>Consolidation</p> <p>確認テスト</p> <p>本時で学んだことを整理する。</p>		エ ワークシート